

お釈迦様

第3組河野圓城寺 藤井 淳俊

4月になりました。お釈迦様が誕生された月です。お釈迦様は、全ての人間は生まれてから年老いて病気に苦しみ、死んでいく「生老病死^{しょうろうびょうし}」という人間の一生について悩み、出家され悟りを開かれた方です。お釈迦様は誕生された時、「天上天下唯我独尊^{てんじょうてんげゆいがどくそん}」と話されました。ただ独り、わたしとして尊いという事です。他のいのちは自分のいのちより価値が低いという事ではありません。自分のいのちだけが尊いという事でもありません。お釈迦様は、人間だけでなく、花や木などすべてのいのちが尊く互いにつながっている存在だと説かれています。このつながりの中に人間として生まれ、このいのちのままに尊いという事です。私たちは、普段たくさんの人と出あいます。その中で、地位や権力、財力や容姿など色々な自分のものさしによって人と比べてしまう事があると思います。特に最近ではデジタル化が進んでおり、ひとりひとりで使用できる SNS が普及しています。非常に便利でついつい時間を忘れて画面を見てしまいます。その一方で、自分のものさしで人と比べやすい環境でもあると思います。「天上天下唯我独尊」とは、このようなものさしを取り除いて、そのままにして尊い存在であるという自分を照らし出す大切な言葉です。

春から新しい生活が始まった方々や、進級進学など懐かしく思われる方も

見えるでしょうか。お寺の前が通学路になり、小学生中学生の元気な姿を見ながら家を出ています。最近では地元の方々が安全登校できるよう見守っている姿を色々な地域で見かけるようになりました。みなさん挨拶をしてくださります。様々な人と関わり、老いや病気に苦しみ、死んでいく私たちの人生の中で、お釈迦様の言葉を聞き、その喜びを感じ生活していきたいものです。